

水辺ビオトープ創出技術



計画段階から施工後まで一貫したモニタリングで最適な水辺ビオトープを創出

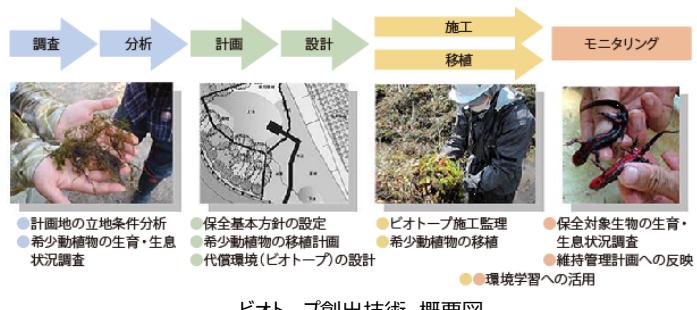


お客様のメリット

- 最適な水辺ビオトープを創出・保全します。
 - 計画地調査から施工後モニタリングまで一貫して実施します。
 - 調査・分析に基づいた計画で希少動植物を適切に保全します。

技術の特徴

生態系への配慮が重視される案件において、失われる自然の代償環境を調査・分析に基づき、保全基本方針を計画します。これにより、希少動植物の移植などの適切な保全対策を行うことができます。また、モニタリング調査や維持管理計画など、竣工後のフォローを行うことができます。



【推荐】

- 環境を真にする3つの水辺を創出
 - ①上池：整備されている湿地Bと連続させた「森に包まれた水辺」
 - ②流れ：上池～下池の間に創る「地形なりの流れ」
 - ③下池：地域の原風景である棚田をモチーフとして「田んぼ環境の食出」
 - 多様な動物の生息環境を創出
 - ・水辺を形成する斜面の勾配に変化を持たせる
 - ・爬虫類の生息環境整備を目的とし、部分的に空石積みを用いる
 - ・造成にあたっては、堤北周辺から発生する表土や石を活用する



○上級：日陰で湿度の高い場所の木に創出



②流れ： 池を繋ぐ流れのイメージ



③下池：相田のイメージを再観

ビオトープ計画（例）

実績・事例

伊良原ダム、エコ・グローブくれ他多数



▲プレスリリースは→こちら



For a Lively World



EA-0504